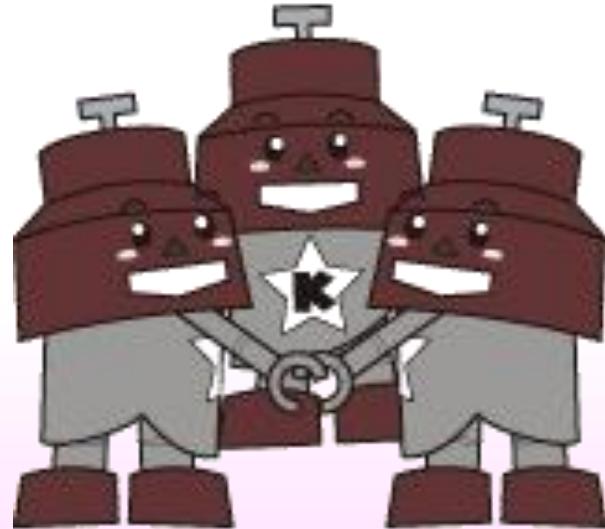


川口市 自立支援型地域ケア会議



川口市 長寿支援課 地域ケア係

地域ケア会議

平成27年地域包括ケアシステムの実現のためのツールとして介護保険法に位置づけられました。

介護保険法（抜粋） 第115条の48（会議）

市町村は、第百十五条の四十五第二項第三号に掲げる事業の効果的な実施のために、介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他の関係者、関係機関及び関係団体（以下この条において「関係者等」という。）により構成される会議（以下この条において「会議」という。）を置くように努めなければならない。

2 会議は、厚生労働省で定めるところにより、要介護被保険者その他の厚生労働省令で定める被保険者（以下この項において「支援対象被保険者」という。）への適切な支援を図るために必要な検討を行うとともに、支援対象被保険者が地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行うものとする。

（以下略）

自立支援に資する介護予防ケアマネジメントの視点

■ 自立した日常生活を阻む真の課題の解消を目指した支援方策

本人と本人を取り巻く人々の力を引き出し、最適な状態を目指す

個人的要因	身体機能
	精神機能
	経済状況等

性格、人生歴、身体機能・生活機能に支障をきたす高齢者の個人的な要因

環境的要因	家族・経済
	近親者・近隣
	住まい・居住環境
	社会資源
	その他

高齢者をとりまく人や物など周囲のあらゆる状況

身体機能・知的機能、障害、疾病の状態(ADL、IADL)は?
性格や暮らしぶり、ストレスの状況は?
普段の体調管理(水・食・運動・排泄)は?
状態回復できるものか、できないものか、維持できるのか?
経済的状況(収入、預貯金、不動産)は?
価値観(人生で大事にしてきたこと)特技、趣味、生きがいは?
過去の人脈、現在の人脈(本人が作ったネットワーク)は?

的確なアセスメント

- 相談者と本人の関係は?
- 家族構成員の状況と家族システムの現状(決定や権威等)、経済状況は?
- 居住地域がどんな地域か、どんな文化を持っているか本人家族と近隣住民との関係性は? 地域での役割は?(時系列で変化をとらえる)
- 在宅や地域の日常生活導線は? 社会資源の状況は?
- かかりつけ医や民生委員との関係は?
- 取り巻く人のストレスは?(障害、疾病への理解度、偏見の有無)

川口市の自立支援型地域ケア会議

グループワークで自立支援の考え方、 多角的なアプローチ方法を学ぶ

①事例について

- ・本人像の共有
- ・なりたい本人像に近づけるアプローチ
- ・妨げている要因
- ・本人の強み期・長期目標

②対象者へのメッセージや提案

- ・助言やグループから得た意見を参考に、本人の行動変容につながるようなメッセージや手紙等を作成する

学びの場

- ・なりたい本人像に近づけるためにはどんな方法があるか
- ・本人の強みを活かす家族の協力や地域資源はあるか
- ・助言者もグループワークと一緒に参加する中で専門的な視点やアドバイスを共有し参考にする
- ・他の介護支援専門員のアイデア、方法を参考にする
- ・他者の事例、プランを通してアセスメントの視野を広げる

川口市が目指す自立支援型地域ケア会議

個別ケースの
支援内容の
検討

自立支援型
地域ケア会議

多職種による
視点

①自立支援の考え方や
マネジメント方法を学ぶ

実践

②専門職の視点や助言と
ともに、他の介護支援
専門員の意見や支援方法
を学ぶことで、多角的な
視点、アプローチ方法を
身につける

自立支援に
資するケア
マネジメン
ト支援へ

他ケースへ
の応用

ケアマネジ
メント能力
の向上

高齢者の
自立を支援

高齢者の
QOLの向上

地域にいき
いきした高
齢者が増え
る

目的

介護支援専門員が
自立支援の考え方を理解し、支援への実践が定着
することで、高齢者のQOLの向上につなげる

自立支援の実現に向けて

自立支援 = 高齢者本人の望む暮らし・生活（「したい」「できるようになりたい」こと）の実現

※単に身体機能の向上による介護保険サービスからの「卒業」を目指したり、インフォーマルのサービスに代えて介護保険サービスを抑制するものではありません

できないことを補完してくれて、
お世話をしてくれるというサービスだけで十分ですか？？

もっと暮らしを豊かに、本人の
「したい暮らし」を実現するため
に良い方法はないでしょうか
??

自立支援の実現に向けてのグループワーク

自立支援型地域ケア会議は、個別地域ケア会議の一つで、サービスを利用することで生活が成り立っている人の支援を取り上げること、単なる個人の要介護度の改善を目指すことが目的ではありません



グループワークで目指すこと

グループワークの中で本人のしたいことや楽しみを実現し、自分らしい生活を続けられるように話し合いすることです

本人の望む生活、なりたい本人像は？

まずは本人を理解してみよう。
本人像をみんなで共有しよう。

本人はどんな人？

本人の強みは？弱みは？

周りの反応は？協力は？

現状とのギャップは？

本人がしたいこと、できるようになりたいことって何？

現状は？

これを妨げている要因は何？

個人的要因

環境的要因

なりたい本人像に近づくためにできることは何だろう？

何がどうなれば本人らしい生活になるの？

短期目標

長期目標

利用できる社会資源

その人らしさ、楽しみを取り入れよう



まとめ

自立支援型地域ケア会議を通して

- ①自立支援の考え方やマネジメント方法を学ぶ
- ②専門職の視点や助言とともに、他の介護支援専門員の意見や支援方法を学ぶことで、多角的な視点、アプローチ方法を身につける

自立支援型地域ケア会議の目的

介護支援専門員が
自立支援の考え方を理解し、支援への実践が定着する
ことで、高齢者のQOLの向上につなげる

自立支援の実現に向けて

本人の「したい」「できるようになりたい」
を大切にする